

「ゆめ水族園実施に向けた取組と実際」

北海道函館養護学校
教諭 小山田 秀 司

1 はじめに

本校は、肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校で、小学部19名、中学部11名、高等部13名の計43名が在籍しています。本校では、教育目標に「子ども一人一人のもっているよさや個性を發揮できるようにし心豊かにたくましく社会で共に生きる力を育てる」を掲げ、めざす児童生徒の育ちとして「楽しんで学び続ける人」、「互いのよさを認め合い、人とのつながりをもてる人」、「自分の考えを表現し、生き生きと活動する人」、「命と心身の健康を大切にす人」とし、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた取組を行っています。

学校で取り組んだ「ゆめ水族園」は、セイコーエプソン株式会社が社会支援活動として行っている「ファンタスプロジェクション」による映像表現を生かした感覚刺激を伴ったバーチャル体験活動です。道南地域には水族館や動物園はありません。そのため児童生徒に「ゆめ水族園」の世界観の中で、動物たちの生命の躍動を見たり感じたりしながら、自由に心と身体を水の中の映像に重ね合わせる体験をしてもらいたいという願いがありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で校外での活動が制限される中、今まで経験したことのない空間を「見る、聴く、感じる」体験をすることにより、児童生徒の様々な感情や行動を引き出すことや、周りの人たちと感動を共有することを期待しました。

2 ゆめ水族園実施に向けた取組と実際

(1) 令和3年度「Fantas Scholaと函館水族園」

ゆめ水族園は、令和2年度実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため2年間延期され、令和4年度にようやく実施されました。実施までの期間は、令和3年度にセイコーエプソン株式会社主催の研修会（Fantas Schola、計3回）に全教員で参加しました。この研修会で学んだ「投影のコツ」、「空間作りの具体例」などを生かし、ゆめ水族園実施に先駆けて「函館水族園」と名付けたプロジェクションによる映像空間を教員が工夫して実施することで、中学部の生徒は、ゆめ水族園への期待を膨らませることができました。



函館水族園の様子

(2) 令和4年度「ゆめ水族園実施に向けた取組」

ゆめ水族園は、本校の体育館、プレイルーム、行動観察室の3会場で開催しました。行動観察室は本校の児童生徒が美術や図工の時間に制作した「風のアート/コットンボール」や「海の生き物/チンアナゴ」等の作品とゆめ水族園の映像とのコラボルームとして企画しました。



「風のアート/コットン

コラボルーム「風のアート」



コラボルーム入口「児童生徒作品」

ボール」では、中学部の生徒が、張り子や糸巻きをして風で揺れる2種類の飾りを作りました。中には鈴が入っているものもあり、風に揺られると優しい音が響きます。これにゆめ水族園の映像が加わることで幻想的な空間になりました。また、入口に設置した「ウェルカムボード」は、海をイメージして作った「アルコールインクアート」に、道南の海で集めた小石や貝殻をボードに飾って制作しました。コラボルームは児童生徒のゆめ水族園への期待が詰まった会場になりました。

3 まとめ

校内の3会場はそれぞれに特徴がありました。体育館はダイナミックな映像や様々な仕掛けがあることでアクティブな活動やリラックスした活動等ができる多様な空間、プレイルームはゆったりと落ち着いて活動ができる空間、行動観察室は児童生徒の作品とゆめ水族園の映像がコラボした空間です。そして、どの会場でも映像や音、感触等を楽しむことができました。

ゆめ水族園は、空間スケールの大きさ、ダイナミックさに加え、多彩な映像、そして床、壁、天井、スクリーンなどあらゆる方向に映像を映したり、魚すくい、触れられるスクリーン、リラックスできる音楽など多様な仕掛けが用意されたりしていました。映像による視覚刺激だけではなく、聴覚や触覚などの身体全体で刺激を受け、様々な実態の児童生徒が楽しんで活動できる内容でした。体験を通して「物を見続けることが苦手な子供が、ハンドスクリーンに映した泳いでいる魚から目を離さなかったり、クラゲが動く様子をずっと目で追ったりしていた。」、「映像に思わず手を伸ばそうとしていた。」、「普段あまり声を発しないが、今まで聞いたことのないような発声で、隣にいる教師に話し掛けていた。」など、様々な感情や行動を引き出すことができました。

コロナ禍での実施のため、本来計画していた地域の学校等を招くことや、本校の訪問教育学級の生徒が入院している病院に移動型投影プロジェクションカーを持ち込み、院内版ゆめ水族園を実施することができなかったことは残念でした。しかし、訪問教育学級の児童生徒はオンラインで参加することができました。児童生徒一人一人が様々な角度からゆめ水族園の世界を満喫し、日常ではできない大変貴重な体験をすることができました。



体育館会場の様子



プレイルーム会場の様子



魚すくいをする様子



北海道函館養護学校

住所 〒042-0916 函館市旭岡町2番地
電話 0138-50-3311



本校のWebページ
を御覧ください。